

- 問1 世界地図において北緯40度の緯線上を、朝鮮半島から東に向かって進んだ場合、中国の黄河を通過した次に現れる、日本の東北地方を南北に流れる一級河川の名前として正しいものを次の中から選びなさい。 (2026年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 信濃川 | 2. 北上川 | 3. 石狩川 | 4. 筑後川 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問2 岩手県の伝統的工芸品である南部鉄器について、その生産地や特徴を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|---------------------------------------|---|
| 1. 弘前市を中心に生産され、何層にも塗り重ねられた漆の模様が特徴である。 | 2. 盛岡市や奥州市で生産され、鉄瓶や茶道具などの日用品として広く知られている。 | 3. 会津若松市で生産され、金粉や銀粉で装飾を施す蒔絵の技法が有名である。 | 4. 天童市で生産され、良質なツゲの木を加工して作られる駒が全国的なシェアを誇る。 |
|---------------------------------------|--|---------------------------------------|---|
- 問3 東北地方の稲作において、気候特性と農業技術の適応について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2020年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 広大な平野を活かして、夏と冬で異なる作物を作る二毛作が全域で普及しており、米の銘柄化は進んでいない。 | 2. 冷害対策として、全ての水田を温室のような施設栽培に切り替えることで、高級な銘柄米を安定供給する体制を築いた。 | 3. 夏の低温被害である冷害を避けるため、品種改良によって耐冷性と食味を両立させた銘柄米の生産に力を入れている。 | 4. 日本海側では「やませ」の影響による干ばつが多いため、干拓地を利用した大規模な灌漑施設による銘柄米作りが行われている。 |
|---|---|--|---|
- 問4 東北地方の地域構成について述べた次の文のうち、青森県の特徴として正しいものはどれですか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 東北地方で最も面積が広く、県庁所在地は盛岡市である。 | 2. 東北地方の南部に位置し、猪苗代湖などの湖沼がみられる。 | 3. 東北地方の最北端に位置し、県庁所在地は青森市である。 | 4. 東北地方の太平洋側に位置し、気仙沼港などの重要な漁港がある。 |
|-------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|-----------------------------------|
- 問5 日本列島の西側に位置する日本海において、南の低緯度側から北へ向かって秋田県沖などを流れる暖流の名称として正しいものを選択肢から選びなさい。 (2022年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-------------|---------|-------------|
| 1. リマン海流 | 2. 日本海流（黒潮） | 3. 対馬海流 | 4. 千島海流（親潮） |
|----------|-------------|---------|-------------|
- 問6 岩手県盛岡市などの統計において、1993年や2003年には7月・8月の平均気温が摂氏20度を下回るほど低くなり、これに伴って米の収穫量が平年の半分以上まで激減したことが記録されています。このような深刻な冷害を引き起こした気象現象の説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|-----------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 夏にオホーツク海側から吹き込む、冷たく湿った北東の風の影響 | 2. 夏に山を越えて吹き下ろす、高温で乾燥した風の影響 | 3. 夏に南方の海洋から吹き込む、高温で湿った南東の季節風の影響 | 4. 冬に日本海側から山を越えて太平洋側に吹く、乾燥した北西の風の影響 |
|----------------------------------|-----------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|
- 問7 果樹の生産統計において、ももの収穫量が山梨県に次いで全国2位であり、東北地方を代表する産地となっている県はどこですか。 (2017年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 秋田県 | 2. 福島県 | 3. 長野県 | 4. 山形県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問8 東北地方北部の地図において、青森県と秋田県の境に位置する地域が示されている。この地域にある山地の特徴として最も適切なものはどれか。 (2024年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. スギの人工林が広がり、「秋田杉」や「青森ヒバ」の産地として林業が盛んに行われている。 | 2. 冬には流水が接岸し、海と陸の独自の生態系を持つことから世界自然遺産に登録されている。 | 3. 東北地方の中央を南北に走り、日本の背骨とも呼ばれる山脈として気候の境界線となっている。 | 4. 人為的な影響をほとんど受けていない世界最大級のブナの天然林が分布し、世界自然遺産に登録されている。 |
|---|---|--|--|
- 問9 東北地方において地熱発電が盛んに行われている理由として、地理的な背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---------------------------------------|--|
| 1. 三陸海岸などのリアス海岸において、潮の満ち引きによるエネルギーを活用できるため | 2. 北上川や最上川などの急流河川が多く、水流の落差を利用した発電に適しているため | 3. 奥羽山脈などに火山が多く分布し、地下の熱エネルギーを利用しやすいため | 4. 偏西風が安定して吹くため、大規模な風車を設置して効率的に発電できるため |
|--|---|---------------------------------------|--|
- 問10 ある県の産業統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり約90人と低く、農業産出額（約1,732億円）のうち米の占める割合が約61%と極めて高いというデータがあります。この県で生産されている「あきたこまち」のような、産地や品質を保証して販売される米の名称を何といいますか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|--------|---------|
| 1. 抑制栽培 | 2. 近郊農業 | 3. 銘柄米 | 4. 伝統野菜 |
|---------|---------|--------|---------|
- 問11 三内丸山遺跡周辺の土地利用の変化について、1980年代後半と2020年代の状況を比較した記述として、地理的・歴史的な背景から考察して最も適切なものはどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 遺跡の全域が工業地域として再開発され、かつての集落跡はすべてコンクリートで覆われた。 | 2. 遺跡の西側に新幹線などの高速鉄道網が整備されたことで、広域的な交通の利便性が向上した。 | 3. 周辺の農地がすべて宅地造成され、遺跡は大規模な新興住宅団地の中に埋没した。 | 4. 遺跡の西側を流れる河川を大規模に埋め立て、国際的な貿易港が建設された。 |
|---|--|--|--|
- 問12 東北地方において、漆器やこけしなどの伝統的工芸品が、山間部を中心とした地域で古くから発展してきた背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2026年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 広大な平野部において、一年中農業に専念する専業農家が、自給自足の生活を豊かにするための趣味として制作したため。 | 2. 夏季の涼涼な気候を活かし、農作業の合間に大規模な工業団地を形成して、製品を効率的に大量生産したため。 | 3. 都市部の商人たちが、冬場の寒冷な気候が漆の乾燥に適していることに注目し、農閑期の労働力を安く雇い入れたため。 | 4. 雪の影響で農作業が困難になる冬の期間に、農家が貴重な現金収入を得るための副業として生産に取り組んだため。 |
|--|---|---|---|
- 問13 日本の各地方における農業産出額の内訳を比較した際、関東地方や近畿地方では野菜の割合が相対的に高いのに対し、ある地方では米の割合が32%を超えて三地域の中で最も高くなっています。あきたこまちなどの産地銘柄米の生産が盛んな、この地方の名称として正しいものを選択してください。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 関東地方 | 2. 九州地方 | 3. 近畿地方 | 4. 東北地方 |
|---------|---------|---------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 北上川	北緯40度線は、日本の東北地方（秋田県や岩手県）を横断しています。この緯線上をアジア大陸から東へ移動すると、中国の黄河を越えた次に日本列島の北上川と交差します。石狩川は北海道、信濃川は中部地方、筑後川は九州地方を流れる河川であり、北緯40度線とは交差しません。
問2	答え 2 盛岡市や奥州市で生産され、鉄瓶や茶道具などの日用品として広く知られている。	岩手県の盛岡市と奥州市は古くから鋳物産業が盛んな地域であり、南部鉄器は鉄瓶や鍋などの実用的な道具として発展してきました。現在では、伝統的な黒色だけでなく、海外向けにカラフルな塗装を施したティーポットが生産されるなど、現代のニーズに合わせた工夫も行われています。
問3	答え 3 夏の低温被害である冷害を避けるため、品種改良によって耐冷性と食味を両立させた銘柄米の生産に力を入れている。	東北地方は日本の米蔵と呼ばれますが、常に冷害のリスクと隣り合わせでした。技術革新により、寒さに強いという特性だけでなく、消費者ニーズに応える「美味しいお米」としてのブランド（銘柄米）を確立することで、冷害への耐性と収益性の確保を同時に実現しています。二毛作は一般に冬が温暖な西日本で行われることが多く、東北地方では一毛作が中心です。
問4	答え 3 東北地方の最北端に位置し、県庁所在地は青森市である。	青森県は本州の最北端、すなわち東北地方の最も北に位置する県です。県庁所在地は県名と同じ青森市です。選択肢にある「面積が最も広い県（岩手県）」「猪苗代湖がある県（福島県）」「気仙沼港がある県（宮城県）」はいずれも東北地方の他の県の特徴を示しています。
問5	答え 3 対馬海流	日本海を北上する暖流である。東シナ海で日本海流（黒潮）から分かれ、対馬海峡を通過して日本海に入り、東北地方の日本海側を含む沿岸地域の気候や漁業に影響を与えている。同じ日本海を流れるリマン海流は、北から南へ流れる寒流であるため混同しないよう注意が必要である。
問6	答え 1 夏にオホーツク海側から吹き込む、冷たく湿った北東の風の影響	東北地方の太平洋側で記録された平均気温の低下と米の減収は、冷たく湿った北東の風である「やませ」による冷害が原因です。特に1993年は歴史的な記録不足（平成の米騒動）として知られています。選択肢にある「山を越えて吹き下ろす高温で乾燥した風」はフエーン現象、「冬に吹く乾燥した北西の風」はからっ風の説明であり、これらは冷害の直接的な原因とはなりません。
問7	答え 2 福島県	ももの栽培は、盆地特有の夏に高温多湿となる気候や水はけの良い土地が適しています。東北地方では福島盆地を中心に栽培が盛んで、全国1位の山梨県に次ぐ収穫量を誇っています。長野県も全国3位と収穫量が多いですが、東北地方の県ではありません。
問8	答え 4 人為的な影響をほとんど受けていない世界最大級のブナの天然林が分布し、世界自然遺産に登録されている。	問題文の位置が示すのは白神山地である。白神山地は、人の手がほとんど入っていないブナの原生林が世界的な価値を持つとして評価されている。選択肢の「日本の背骨」は奥羽山脈、「流氷」は知床の説明である。また、周辺地域では林業も行われているが、世界自然遺産の登録理由である「原生的なブナ林」を選択することが重要である。
問9	答え 3 奥羽山脈などに火山が多く分布し、地下の熱エネルギーを利用しやすいため	地熱発電の設置条件は「火山の存在」が不可欠です。東北地方は奥羽山脈を中心に火山帯が形成されているため、地下の熱を利用する発電所の建設に適しています。他の選択肢は、風力・水力・潮汐発電の説明であり、地熱発電の地理的要因とは異なります。
問10	答え 3 銘柄米	秋田県に代表される東北地方の日本海側では、冬の降雪がもたらす豊かな水資源を活かした稲作が非常に盛んです。消費者のニーズに応えるため、県名などを冠した「あきたこまち」のような銘柄米（ブランド米）の生産に力を入れ、農業産出額の過半数を米が占めるという、単作地帯としての特徴を持っています。
問11	答え 2 遺跡の西側に新幹線などの高速鉄道網が整備されたことで、広域的な交通の利便性が向上した。	青森市の三内丸山遺跡周辺は、1980年代後半から2020年代にかけて、東北新幹線の延伸という大きなインフラ整備の影響を受けました。地形図の変化をたどると、遺跡の西側に位置していた未開発の平地に新しい鉄道の線路記号が描かれるようになっていきます。これは、新幹線の開通によって青森県と他の都県を結ぶ移動時間が短縮され、観光客の増加や地域経済の活性化に寄与する交通結節点としての役割が強化されたことを示しています。
問12	答え 4 雪の影響で農作業が困難になる冬の期間に、農家が貴重な現金収入を得るための副業として生産に取り組んだため。	東北地方は冬の降雪量が多く、長期間にわたって屋外での農作業が制限されます。そのため、農家の人々は冬の間の生活を支える現金収入を得る手段として、身近な木材や漆などを利用した手作業によるものづくりを副業として行いました。これが現代に続く伝統的工芸品の発展につながっています。
問13	答え 4 東北地方	東北地方は日本の穀倉地帯と呼ばれ、広大な平野を活用した大規模な稲作が行われています。統計データにおいても、都市近郊農業が盛んで野菜の割合が高い関東や近畿と比べ、米の生産額が占める割合が非常に高いのが特徴です。冷涼な気候に適応しつつ、食味の良い「あきたこまち」や「ひとめぼれ」といった産地銘柄（ブランド米）の育成に力を入れることで、全国的な米の供給基地としての地位を築いています。